

事業完了（廃止等）報告書

調査研究期間等

調査研究期間	令和元年6月3日 ～ 令和2年3月13日
調査研究事項	<p>《委託研究Ⅲ》</p> <p>夜間中学における教育活動充実に係る調査研究</p> <p>ア. 教育課程に関すること</p> <p>イ. 教職員の配置・研修に関すること</p> <p>ウ. 環境整備に関すること</p>
調査研究のねらい	<p>○教育課程・指導上の工夫について</p> <p>豊中市立第四中学校には、年令、国籍、生育歴など多様な生徒が通っている。日本で生まれ育った生徒のなかには、義務教育未修了者や既卒だが十分に義務教育をうけられなかった者など一人ひとり学習経験や理解の仕方が違っている。外国籍の生徒の中には来日して日が浅く日本語指導の必要な生徒や来日してから数十年過ごし日本語会話はわかるが書き言葉の学習が必要な生徒がおり、生徒によって学校外での日本語に触れる時間の長短や母国での学習経験の違いがある。生徒の多様な状況を的確に把握し、効果的な教育課程の編成や指導法の工夫について研修する。</p> <p>主体的・対話的で深い学びの視点から、日々の授業や学校行事のあり方について研究する。</p> <p>○教職員の配置のありかたについて</p> <p>日本語を初めて学ぶ生徒や小学校の学習内容から学ぶ必要がある生徒の指導における教職員や夜中専門員の配置のあり方を研究する。</p> <p>また、生徒指導の際、日本語では自分の思いを伝えにくい生徒については夜中専門員（通訳）を配置することによりきめ細かな指導について研究する。</p> <p>○教職員の研修について</p> <p>日本語の全くわからない生徒への初期指導の方法や社会生活に必要な日本語の指導について研修する。</p> <p>卒業後の高校進学などのキャリア形成について展望をもつことができる進路指導について研究するにあたって、外国籍生徒の在留資格や就職状況について研修する。</p> <p>○生徒の学習を支える環境整備について</p> <p>経済的負担を考慮した効果的な学校行事のあり方について研修する。</p>
調査研究の成果	<p>○教育課程・指導上の工夫について</p> <p>・4月当初の授業と夜中専門員（通訳）を介した面談により、生徒一人ひとりの学習経験や理解度を把握した上で、国語と数学を3つから4つのコース（難易度の低い順番にA～D）に分け、生徒の学習状況に応じた指導を行うことができた。</p>

・安土城考古博物館への校外学習では、事前に購入した教材作成用参考図書を活用して、安土城の歴史や地理についてあらかじめ学習を行い、予備知識をもって見学することで、社会科への興味・関心や理解を深め、生徒同士で意見を交流することができた。

・総合学習発表会では、ABコースは、「場面に応じた言葉の使い方」に関する劇を協力して作り上げる中で、日常生活で使える日本語を実体験し表現することができた。CDコースは、第四中学校夜間学級が誕生した経緯について学習したことを発表、生徒一人ひとりが入学した頃のことを振り返りながら「学びへの思い」を表現することができた。

・校内作品展では、美術科や技術科で作成した絵画や模型、総合的な学習の時間に行った書道、パソコンで作成したカレンダーなどを多くの作品を展示し、夜間学級の生徒、教職員だけではなく、昼の中学生や教職員にも鑑賞してもらい、交流することができた。また、連合作品展では他の夜間中学校の生徒と作品を鑑賞し合うことができた。

○教職員の配置のありかたについて

・コースや学習内容によってチーム・ティーチングを取り入れながら、個別の学習状況に合わせた指導を行うことができた。

・夜中専門員の活用により、外国語として日本語を学ぶ生徒の理解度に応じた声かけや学習支援、個人懇談や進路相談、健康診断の際の相談等きめ細かな対応を行うことができた。

○教職員の研修について

・「新渡日外国人の人権と教育」をテーマに、弁護士の方を講師として招いて職員研修を行い、外国人の在留資格や出入国管理法、外国人の人権や教育環境の現状について学び、夜間学級の役割について考え、次年度の生徒指導や教育課程の編成に生かすことができた。

○生徒の学習を支える環境整備について

・校外学習では、交通費を本事業で執行することにより、生徒の個人負担額が減少したため、24名が参加することができた。

・絵の具セットや習字道具などを学校で用意し、道具が用意できないから学習できないという状況を防ぐことができた。

【5月】

・校内研修（生徒の学習状況に応じた指導について）
生徒個々の学習状況を分析し、学習コース分けを行った。

【6月】

・校内研修（生徒指導のありかたについて）
生徒の出席状況に影響を及ぼす就労状況や健康状態について職員の共通理解を図り、指導のありかたについて検討した。

・生徒健康診断

【7月】

・生徒個人懇談

・校内研修（個人懇談で把握した生徒個々の学習や生活状況に応じた指導や授業の進め方について共通理解を図った。）

	<p>【8月】</p> <ul style="list-style-type: none">・校内研修（主体的・対話的で深い学びの学習につながる学習旅行や総合学習発表会のありかたについて検討した。） <p>【9月】</p> <ul style="list-style-type: none">・後期入学式・健康診断（後期入学生）・公開授業・学習旅行（安土城考古博物館） <p>【10月】</p> <ul style="list-style-type: none">・校内研修（進路指導のあり方について） <p>【11月】</p> <ul style="list-style-type: none">・生徒個人懇談 <p>【12月】</p> <ul style="list-style-type: none">・校内研修（個人懇談で聞き取った進路や今後の希望について職員で共通理解を図り、指導のありかたについて検討した。） <p>【1月】</p> <ul style="list-style-type: none">・校内研修（本年度の学習指導について反省し、次年度の学習指導に反映できるよう検討した。） <p>【2月】</p> <ul style="list-style-type: none">・校内研修 「新渡日外国人の人権と教育」・調査研究のまとめ
--	---